

# UFlect

ユーフレクト



メンテナンスガイド：室内排気バルブ（ディフューザー）

注意



空気が流れる場所は塞がない。

ドアのアンダーカット、壁の給気口などの空気の通り道などは塞がないで下さい。換気がスムーズに行われなくなる原因になります。




用意するもの





軍手、雑巾、バケツ、水、古新聞、脚立

あると便利

ぬるま湯、中性洗剤、小型掃除機

室内排気バルブは、汚れ具合によって随時清掃することで換気量の低下やホコリの付着による吸込み音の増加を防ぐことができます。次の手順にそって行って下さい。

作業手順	
1.	 <p>天井や壁に換気用排気バルブ（ディフューザー）が設置されています。 （設置場所：浴室、台所、トイレ、納戸、WICクローゼット、ロフト、小屋裏収納など）</p> <p>汚れが目立って、ホコリが付着して吸込み音が発生したら、次の手順で清掃を行います。</p>
2.	 <p>ディフューザーを外します。</p> <p> 各設置場所によりディフューザー開度が異なりますので設置場所の間違いを防ぐため外した際にディフューザーの裏（室内から見えない場所）に設置場所を油性マジックで記載することをお勧めします。</p>

3.		<p>ディフューザーの清掃を行います。          ブラシや綿棒を使い大きなホコリを落とします。</p> <p>▲</p> <p>ディフューザーは設置場所毎に適量の換気が行われるよう開度調整が行われています。</p> <p>なるべく回転調整板は、回転させないように清掃を行って下さい。</p> <p>誤って回転させてしまいそうな場合は、ネジとナットをテープ等で固定してから清掃することをお勧めします。</p>
4.		<p>使用するブラシには、金属ブラシを使用しないで下さい。破損や傷の原因となります。</p> <p>使い古しの、マスカラブラシや子供用綿棒が清掃には便利です。</p>
5.		<p>ブラシで落としきれなかった汚れは、ディフューザー スポンジを外した後に、中性洗剤を適量混ぜたぬるま湯に浸し汚れを浮き立たせます。</p>
6.		<p>浮き立った汚れを布で拭き取り、しっかり水気を拭き取り乾燥させます。</p> <p>(風量調整用の円盤内に水気が残っていないよう乾燥させます)</p>
<p>清掃の終わったディフューザーを各設置場所に挿入し完了です。</p> <p>▲</p> <p>ディフューザーは、設置場所毎に調整されています。設置される場所を、お間違えにならないようにして下さい。</p> <p>ディフューザー開度の目安          (設定開度は間取りや室容積により変動しますのであくまで下の大小は目安です)          開度大 &gt; 開度小          浴室、台所 トイレ &gt; ホール、シューズクローク &gt; 納戸、WIクローゼット、クローゼットなど</p> <p>▲ シンナーなどの溶剤は使用しないで下さい。故障・破損の原因になります。</p>		